

市町村名 **久米島町**

**沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【中期的検証事業】**

<b>事業名</b>	複合型防災・地域交流拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
<b>担当部課名</b>	建設課、久米島博物館	<b>事業実施年度</b>	平成29 ~ 令和元年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9

**事業内容**  
災害時は、住民及び観光客等が安全に避難生活をおくれる避難所として、平時は地域の交流拠点として利用できる施設の整備を行う。

**実施方法**  
 直接実施   
 委託   
 補助   
 負担   
 その他( )

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度		合計
	実績報告上の総事業費(最終)		18,850	115,038	869,676	
A. 予算現額		18,850	119,020	908,715		1,046,585
B. 執行済額		18,850	115,038	869,676		1,003,564
うち 交付金充当額		15,080	92,030	695,740		802,850
執行率(%) (B/A)		100.0%	96.7%	95.7%		95.9%
執行状況の説明	<p>・(H30年度)実施設計(土木)完了し当初の残土処理の2,500㎡の増及び赤土流出対策工の追加により5,141千円を増額した。          ・(H30年度)隣接する福祉施設と施工方法(振動・騒音等)調整及び対応に不測の日数を要したため15,981千円を次年度に繰り越した。          ・(R1年度)当初計画していた一部を繰越したが工事はすべて完了した他、活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。</p>					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	R1年度	R1年度線	H29年度線
基本設計の策定	目標	基本設計の策定				
	実績	基本設計の策定完了				
建築実施設計	目標		実施設計			
	実績			実施設計完了		
用地造成実施設計	目標		実施設計			
	実績			実施設計完了		
建築工事	目標			工事		
	実績				完了	
機械設備工事	目標			工事		
	実績				完了	
備品購入	目標			完了		
	実績				完了	
図書システムの構築	目標			完了		
	実績				完了	

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
拠点施設の実施設計の完了	目標				完了	
	実績				完了	
建築工事の完了	目標				完了	
	実績					完了
機械設備工事の完了	目標				完了	
	実績					完了
備品購入の完了	目標				完了	
	実績					完了
図書システム構築の完了	目標				完了	
	実績					完了
【R2成果目標】 (災害時) ・施設を利用した避難訓練(2回/年(うち観光シーズンの実施1回))を実施し、安全・確実に避難できたか(80%以上)を訓練参加者に対するアンケート調査により確認するなどし、当該施設のあり方について検証する。	目標					2回 80%以上
	実績					0回
【R2成果目標】 (平常時) ・施設の年間利用者数 延べ3,800人以上(図書館のみの利用は除く)	目標					3,800人 以上
	実績					6,693人
【R2成果目標】 (平常時) ・図書館の年間貸出冊数44,300点以上	目標					44,300点 以上
	実績					8,536点

**事業完了後の取り組み**

	成果目標(指標) ■ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R2年度	R3年度			R3年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	(災害時) ・施設を利用した避難訓練(2回/年(うち観光シーズンの実施1回))を実施し、安全・確実に避難できたか(80%以上)を訓練参加者に対するアンケート調査により確認するなどし、当該施設のあり方について検証する。	目標	2回 80%以上	2回 80%以上			2回 80%以上
		実績	0回	0回 57.5%			
	施設の年間利用者数(図書館のみの利用を除く)	目標	3,800人	4,300人			4,300人
		実績	6,693人	9,438人			
	図書館の年間貸出冊数	目標	44,300点	44,300点			44,300点
		実績	8,536点	10,837点			

**状況説明**

【R2年度】  
 ・複合施設内の図書館と学習室(町営塾)の利用者数は目標人数を上回っている。  
 ・年間貸出冊数は、開館が当初より3ヵ月遅れ10月末となったことなどから目標を大きく下回った。  
 ・新型コロナウイルス感染拡大及び供用開始遅れに伴い、避難訓練を行うことができなかった。

【R3年度】  
 ・新型コロナウイルス感染症対策に対応した施設を利用した避難訓練を行うことができなかったため、防災学習で施設見学した学校と施設前広場に避難訓練した学校にアンケート調査したところ、施設と海の距離が近いことから建物の高さや安全性に対する不安意見が多く、目標値を大きく下回った。  
 ・緊急事態宣言に伴う臨時休館(5~9月)により貸出冊数は目標に達することができなかったが、複合施設内の図書館及び多目的室、学習室(町営塾)利用者は目標人数を上回った。

【年度】  
 ・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

【R2年度】  
 ・新型コロナウイルス感染拡大及び供用開始遅れに伴い、避難訓練を行うことができなかった。  
 ・利用者数が上回ったことについて、開館が予定より遅れたものの、本施設に対する認知度や期待度が高かったことが利用者数が増えたと考えられる。  
 ・貸出冊数が下回ったことについては、図書館利用者数と貸出可能な図書資料数をどう増やすかが課題である。

【R3年度】  
 ・新型コロナウイルス感染拡大のため、施設を利用した避難訓練を行うことができなかったため、防災担当課と感染対策した避難所開設を想定した受入訓練を行った。  
 ・受入訓練のアンケート結果より、建物の高さや安全性に対する不安の意見があり、防災施設としての認知度の低さに課題がある。  
 ・緊急事態宣言発令に伴う臨時休館中も図書館以外の施設は利用できたため、利用者数が増えたと考えられる。  
 ・貸出冊数は前年度より増えたものの、目標の貸出冊数は下回ったことから、利用者数を増やすため図書資料数をどう増やすかが課題である。

【年度】  
 ・

【R2年度】  
 ・新型コロナウイルス感染拡大の可能性も踏まえ、関係機関や地域住民と連携し、実施可能な図上訓練や避難所開設訓練を行う必要がある。  
 ・本施設の認知度向上や利用方法の周知について、町ホームページや広報誌を活用し、利用促進を図る必要がある。  
 ・積極的に図書資料を調達や図書受入を行い、蔵書数を充実させる必要がある。

【R3年度】  
 ・コロナ禍の中、施設を安全・確実に利用してもらうため、関係機関や地域住民と連携し、感染症対策に配慮した避難訓練を行う必要がある。  
 ・アンケート結果から施設の安全性に対する不安の声があったことから、防災施設としての認知度向上につながる情報発信や施設見学を通して、避難方法や利用方法の紹介に努める。  
 ・町ホームページや広報誌を活用し、本施設の認知度向上や利用促進につながる情報の発信を継続して努める。  
 ・積極的に利用者ニーズに合った図書資料の調達や図書受入を行い、蔵書数の充実にも努める。

【年度】  
 ・

## 今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

### 【R2年度】

- ・コロナウイルス感染拡大に伴い、避難訓練が実施できないことを想定し、図上訓練マニュアルを作成する。
- ・施設を活用した避難訓練や安全・確実に避難できたかを検証するアンケート調査を実施し、アンケート結果に基づき施設の適切な維持管理に努め、利用促進につなげる。
- ・町ホームページや広報誌を活用し広報に努め、施設の更なる利用促進を図っていく。
- ・積極的に図書資料を調達するとともに、図書寄贈を呼びかけ蔵書数の充実に努める。

### 【R3年度】

- ・コロナウイルス感染拡大に伴い、防災担当課と連携し、感染症対策に配慮した住民の受入準備など避難所開設訓練を行う。
- ・アンケート結果から防災施設としての認知度が低かったことから、防災担当課と連携し、町防災マップを活用した防災施設見学や感染症対策に配慮した避難訓練を実施する。また、避難所における生理用品や救急箱の必要性に関する指摘回答があり、早急に対応する必要がある。
- ・町ホームページや広報誌を活用し、防災施設に関する情報発信に努め、安全・確実に避難できる施設の認知度向上を図る。
- ・積極的に図書資料を調達するとともに、図書資料の受入を行い、蔵書数の充実に努める。

### 【 年度】

.